

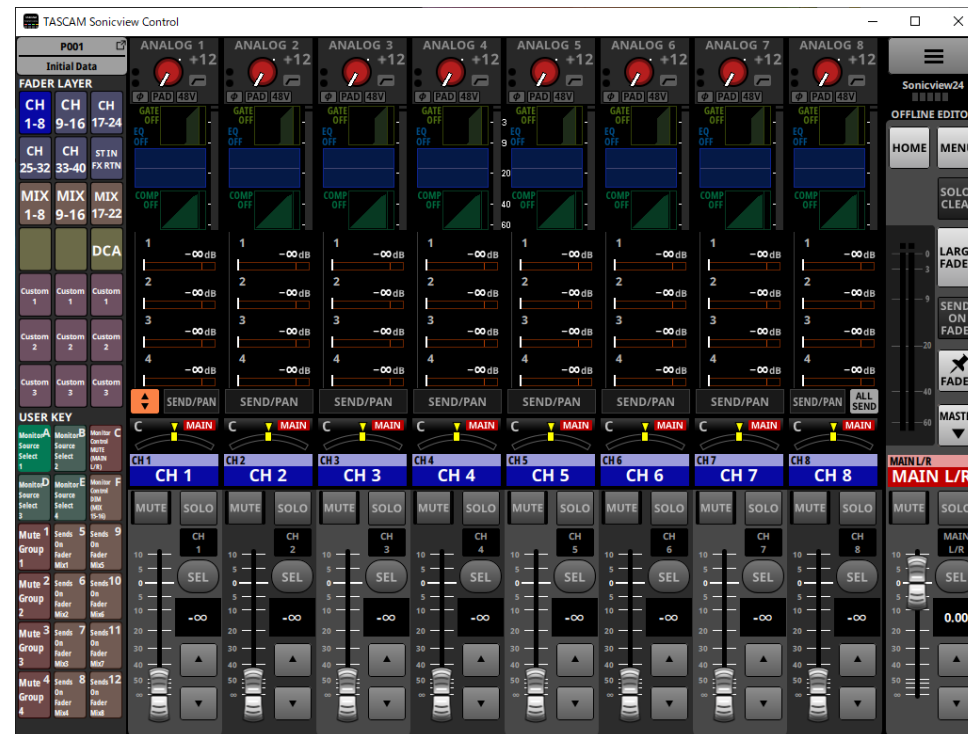
TASCAM

D01406601L

Sonicview Control

取扱説明書

V2.3



0925.MA-3459L

目次

第 1 章 Sonicview Controlの操作.....	2
概要.....	2
本書の表記.....	2
商標に関して.....	2
対応OS/動作条件.....	3
iOS.....	3
Windows.....	3
macOS.....	3
Sonicview本体と専用ソフトウェア.....	3
専用ソフトウェアをインストールする.....	4
iOS.....	4
Windows.....	4
macOS.....	5
Gatekeeperについて.....	6
TASCAM Sonicview Controlの動作モード.....	7
Offline Editor モード.....	7
Remote モード.....	7
Offline Editor モードで使用する.....	8
Remote モードで使用する.....	9
画面の構成.....	10
パラメーターの調節方法.....	14
チャンネルセクション表示.....	15
マスターセクション表示.....	17
アプリメニュー画面.....	19
Custom Layer Nameの設定.....	22
第 2 章 設定データの保存／呼び出し.....	23
Snapshot機能の操作.....	23
Snapshotのインポート／エクスポートについて.....	23
LIBRARYの操作.....	23
All System Dataの操作.....	24
All System DataのSAVE／LOADについて.....	24

概要

「TASCAM Sonicview Control」は、Sonicview本体を操作する専用コントロールソフトウェアです。

Sonicview本体を使ったシステム構築から、日々の管理・運用まで幅広く対応します。

Sonicview本体と共通の画面の操作方法については、Sonicview本体のリファレンスマニュアルを合わせてお読みください。

本ソフトウェアをご使用いただく場合は、「ソフトウェア使用許諾契約書」をお読みいただき、同意いただいた上でご使用ください。

本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- スマートフォン・タブレット端末、パソコンを「各デバイス」と表記します。
- 各デバイス上に表示される文字を「OK」のように表記します。
- 必要に応じて追加情報などを、[ヒント]、[メモ]、[注意]として記載します。

ヒント

本ソフトウェアをこのように使うことができる、といったヒントを記載します。

メモ

補足説明、特殊なケースの説明などを記載します。

注意

指示を守らないと、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

⚠ 注意

指示を守らないと、人がけがをする可能性がある場合に記載します。

商標に関して

- TASCAMおよびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。
- Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel Coreは、Intel Corporation またはその子会社の商標です。
- Apple、Mac、macOS、iOS および App Store は、米国および他の国々で登録されたApple Inc. の商標です。
- App Store は、Apple Inc. のサービスマークです。

その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

対応 OS/動作条件

Windows、macOS、iPadOS

最新の対応 OS 状況については、TASCAM のウェブサイトをご確認ください。

<https://tascam.jp/jp/>

注意

各 OS での動作確認は、下記のシステム条件を満たす標準的な環境での結果になります。

下記条件を満たす環境であっても動作を保証するものではありません。

iPadOS

対応デバイス

arm64 以降を採用した iPad シリーズ

Windows

対応パソコン

DirectX11 のハードウェアサポートのある Windows 対応パソコン

CPU

Intel Core i シリーズ 以降推奨

メモリー

8GB 以上（16GB 以上を推奨）

ディスクの空き容量

150MB 以上の空きが必要

画面解像度／色数

1280 x 1024 ドット（SXGA）以上
True Color（32 ビット）推奨

macOS

対応モデル

Intel Core i シリーズ／Apple M シリーズを搭載した Mac

メモリー

8GB 以上（16GB 以上を推奨）

ディスクの空き容量

150MB 以上の空きが必要

画面解像度

1280 x 1024 ドット（SXGA）以上

Sonicview 本体と専用ソフトウェア

対応機種

Sonicview 16、Sonicview 24
Sonicview 16dp、Sonicview 24dp

ファームウェアバージョン*

Ver 2.3

専用ソフトウェア

TASCAM Sonicview Control

ソフトウェアバージョン*

Ver 2.3

*ファームウェアおよびソフトウェアは、常に最新版をお使いいただきますようお願い致します。最新のファームウェアおよびソフトウェアに関しては、TASCAM のウェブサイト（<https://tascam.jp/jp/>）にてご確認ください。

専用ソフトウェアをインストールする

iPadOS

1. iPadをインターネットに接続してください。
2. App Storeから、専用ソフトウェア（TASCAM Sonicview Control）を検索し、ダウンロードおよびインストールを実施してください。
 - インターネット接続における通信費用は、お客様のご負担となりますのでご了承ください。

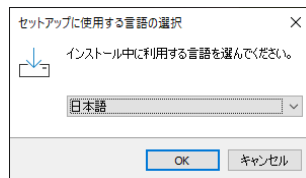
Windows

「TASCAM Sonicview Control」のインストール手順を説明します。

メモ

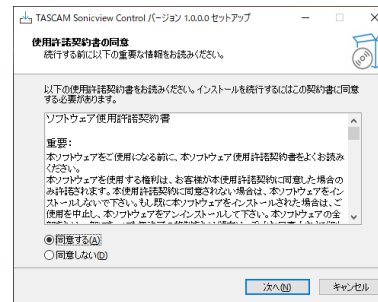
現在TASCAM Sonicview Controlが起動中の場合は、インストール作業をする前に終了してください。

1. お使いのパソコンをインターネットに接続してください。
2. TASCAMのウェブサイト（<https://tascam.jp/jp/>）からソフトウェア（TASCAM Sonicview Control）のインストーラーをダウンロードしてください。
 - インターネット接続における通信費用は、お客様のご負担となりますのでご了承ください。
3. ダウンロード後ファイルを解凍し、「TASCAM_Sonicview_Control_installer_x.x.x.exe（x.x.x はバージョン番号）」をダブルクリックして、インストーラーを起動してください。

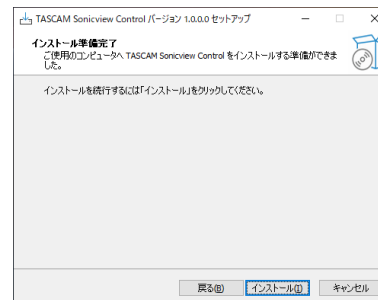


インストーラーの言語選択画面が表示されますので、ご希望の言語を選択し、「OK」をクリックしてください。

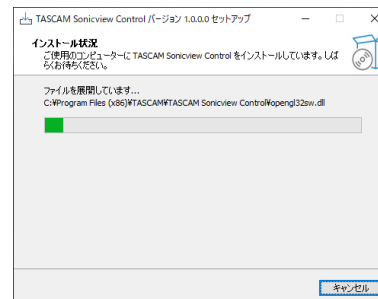
4. ソフトウェアのライセンス同意画面を表示します。ライセンス条項に同意して「同意する(A)」を選択し、「次へ(N)」ボタンをクリックして次に進みます。



5. インストールの準備完了画面を表示します。「インストール(I)」ボタンをクリックします。



6. インストールの進行状況画面を表示します。インストールを途中で中止したい場合は、「キャンセル」ボタンをクリックします。



7. インストール完了画面を表示します。すぐに「TASCAM Sonicview Control」を起動する場合は、そのまま「完了(F)」ボタンをクリックしてください。後で「TASCAM Sonicview Control」を起動する場合は、「TASCAM Sonicview Control を実行する」のチェックマーク（☑）を外してから、「完了(F)」ボタンをクリックしてください。



以上でソフトウェアのインストール作業は完了です。

macOS

メモ

- 現在 TASCAM Sonicview Control が起動中の場合は、インストール作業をする前に終了してください。
- Mac 用「TASCAM Sonicview Control」のインストール中に、「“TASCAM_Sonicview_Control.pkg” は、Mac App Store からダウンロードされたものではないため開けません。」などの警告メッセージが表示されることがあります。これらの警告メッセージが表示されたときは、6 ページ「Gatekeeper について」の対処方法を行った上で、インストールを続けてください。

1. お使いのパソコンをインターネットに接続してください。
2. TASCAM のウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) から、ご使用の OS に適した最新の Mac 用「TASCAM Sonicview Control」をダウンロードし、ご使用のパソコンに保存してください。
 - インターネット接続における通信費用は、お客様のご負担となりますのでご了承ください。
3. 保存した Mac 用「TASCAM Sonicview Control」のディスクイメージファイル「TASCAM_Sonicview_Control_x.x.x.dmg」（x.x.x はソフトウェアのバージョン）をダブルクリックし、開いたフォルダー内の「TASCAM_Sonicview_Control.pkg」をダブルクリックします。



メモ

ご使用の環境により、ダウンロードした zip ファイルが解凍されていない場合があります。その場合は、zip ファイルを解凍してからディスクイメージファイルをダブルクリックしてください。

4. インストーラーが起動しますので、「続ける」ボタンをクリックします。



5. 次に希望の言語を選択し、「続ける」ボタンをクリックします。



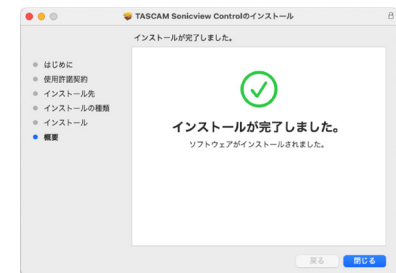
6. 「使用許諾契約を読む」ボタンをクリックして、使用許諾契約の内容を確認します。内容に同意ができたなら、「同意する」を選択します。次に「続ける」ボタンをクリックします。



7. 次に「インストール」ボタンをクリックすると、インストールが開始されます。



8. 次の画面が表示されたら、インストール作業は完了です。「閉じる」ボタンをクリックします。



以上でソフトウェアのインストール作業は完了です。

Gatekeeperについて

macOSをお使いの場合、セキュリティ機能のGatekeeper設定により、インストール中に警告メッセージが表示されることがあります。表示された警告メッセージにより、対処方法が異なります。詳しくは、以下の対処方法をご参照ください。

Gatekeeperの設定を「Mac App Storeからのアプリケーションのみを許可」にしている場合

「TASCAM_Sonicview_Control.pkg」は、Mac App Storeからダウンロードされたものでないため開けません。」というセキュリティの警告画面が表示されることがあります。



その場合には「OK」ボタンをクリックして警告画面を閉じた後、ファイル上でcontrolキーを押しながらクリックする、またはファイル上で右クリックし、メニューから「開く」をクリックしてください。

「TASCAM_Sonicview_Control.pkg」は、Mac App Storeからダウンロードされたものではありません。開いてもよろしいですか?という警告画面が表示されますので、「開く」ボタンをクリックしてください。



このとき、次のGatekeeperの設定を「Mac App Storeからのアプリケーションのみを許可」以外にしている場合と同じ警告画面が表示されることがあります。

「TASCAM_Sonicview_Control.pkg」は、Mac App Storeからダウンロードされたものでないため開けません。」というメッセージが再度表示され、開けないことがあります。



このときは、ファイルのあるフォルダーからデスクトップなど他のフォルダーにファイルをコピーしてから実行するか、Gatekeeperの設定を「Mac App Storeと確認済みの開発元からのアプリケーションを許可」に変更してから再度実行してください。

Gatekeeperの設定を「Mac App Storeからのアプリケーションのみを許可」以外にしている場合

「TASCAM_Sonicview_Control_x.x.x.dmg」(x.x.x はソフトウェアのバージョン) は、アプリケーションで、インターネットからダウンロードされました。開いてもよろしいですか?というセキュリティの警告画面が表示されることがありますが、その場合には「開く」ボタンをクリックしてください。



Gatekeeperの設定を変えるには

Gatekeeperの設定は、システム環境設定の「セキュリティとプライバシー」から「一般」タブの「ダウンロードしたアプリケーションの実行許可:」項目で変更できます。

変更するには左下の🔒アイコンをクリックし、パスワードを入力してロックを解除する必要があります。



🔒 ボタンもしくはcommand + Qなどでシステム環境設定を終了する、または「すべてを表示」をクリックしてこの画面から移動すると、再度ロックされます。

注意

Gatekeeperの設定を変えることで、セキュリティにリスクが生じる場合があります。

Gatekeeperの設定を変更してセキュリティを下げた（下にある項目に変更した）ときは、本ソフトウェアのインストール終了後に設定を元に戻してください。

TASCAM Sonicview Controlの動作モード

TASCAM Sonicview Controlには、以下の動作モードがあります。

Offline Editor モード

Remote モード

Offline Editor モード

- Sonicview本体に接続しない状態で、SnapshotおよびAll System Dataをオフライン編集するモードです。
- Offline Editor モードを使用することによって、「TASCAM Sonicview Control」で設定可能な内容を確認することができます。
- Offline Editor モードで編集したSnapshotの設定データおよびAll System Dataは、SDカード／USBメモリーにエクスポートしてSonicview本体にインポートすることができます。
- Sonicview本体で設定したSnapshotの設定データおよびAll System Dataを、SDカード／USBメモリーにエクスポートしてTASCAM Sonicview Control上で編集することができます。

メモ

- iPadOS デバイスでのOffline Editorモードは、サポートされていません。
- Snapshotの設定データおよびAll System Dataは、アプリケーション内の管理領域への保存・呼び出し、Windows／Mac上の選択フォルダーへのバックアップ・リストアを行います。
- Offline Editorモードでは、アプリケーションを終了するときに現在の編集状態をバックアップすることが出来ます。
編集状態は、パソコン内のアプリケーション管理領域にバックアップされます。次回以降はバックアップした編集状態で再開されます。
- 一部の機能について、操作できない項目があります。
- 同時押しによる操作は対応していません。

Remote モード

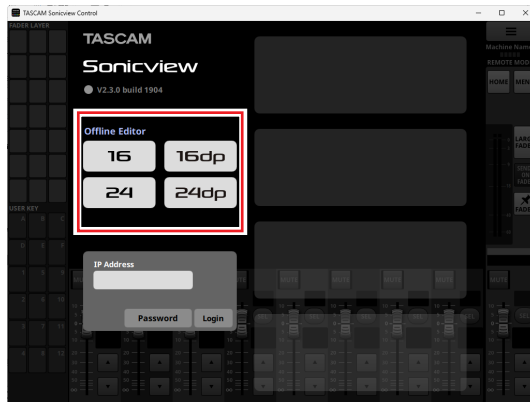
Sonicview本体と各デバイスをネットワーク接続して、Sonicview本体をSonicview Controlから操作することが可能です。

メモ

- Sonicview Controlが1度に操作できるSonicview本体は1台です。同時に複数のSonicview本体を操作することはできません。また、Sonicview本体が同時に接続できるSonicview Controlは1つまでです。
- 一部の機能について、操作できない項目があります。
- 一部のメニュー項目について、Remoteモードでは操作できない項目があります。
- 同時押しによる操作は対応していません。

Offline Editor モードで使用する

1. 「TASCAM Sonicview Control」を起動します。
ログイン画面が表示されます。
2. ログイン画面のOffline Editorボタンをタップします。
 - Sonicview 16用のデータを作成／編集する場合は、ログイン画面の「16」をタップします。
 - Sonicview 24用のデータを作成／編集する場合は、ログイン画面の「24」をタップします。
 - Sonicview 16dp用のデータを作成／編集する場合は、ログイン画面の「16dp」をタップします。
 - Sonicview 24dp用のデータを作成／編集する場合は、ログイン画面の「24dp」をタップします。



Offline Editorモードで、アプリケーションにログインします。
Offline Editorモード中は、アプリ画面の情報表示部（→ 12 ページ「⑦ 情報表示部」）に「OFFLINE EDITOR」と表示されます。



メモ

「TASCAM Sonicview Control」のバージョンは、ログイン画面の左上に表示されます。

Remote モードで使用する

1. Sonicview本体の電源を入れます。
2. Sonicview本体のETHERNET端子とルーターを接続します。
(カテゴリ 6 以上の LAN ケーブルの使用を推奨)
3. 各デバイスを Wi-Fiか有線接続で、先ほどのルーターに接続します。

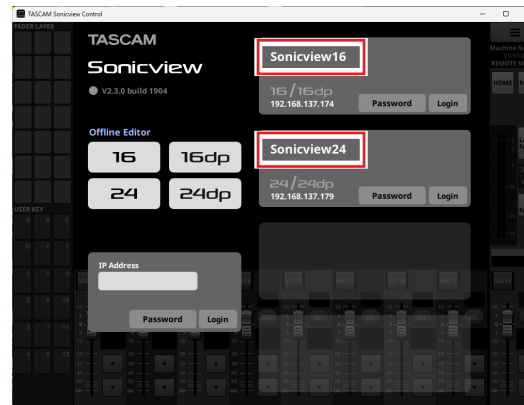
注意

Sonicview本体と各デバイスを同じルーターに接続してください。
複数のハブやルーターを経由して接続される場合、アプリケーションがUPnPマルチキャストによるネットワーク上の機器の検出を行えないことがあります。

1つのハブやルーターにSonicview本体と各デバイスを接続している場合でも、お使いの機種によっては検出が行えない場合があります。

詳しくは、ネットワーク管理者様へお問い合わせください。

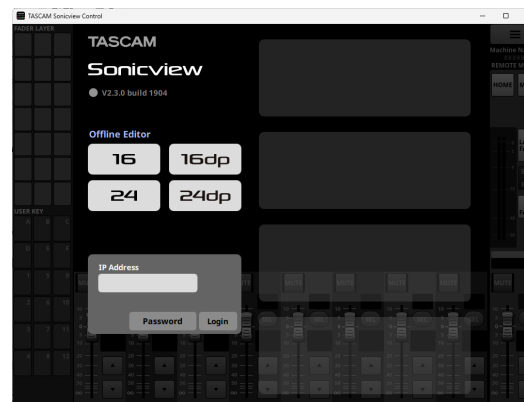
4. 「TASCAM Sonicview Control」を起動します。
ログイン画面が表示されます。



- 複数のSonicviewがLANで接続されている場合は、接続されているSonicview全てがログイン画面に表示されます。
- 赤枠内には、Sonicview本体のNetwork Setup画面のMachine Nameにて設定した名前が表示されます。同一ネットワークに複数のSonicviewがある場合は、各機器を特定しやすい名前に設定しておくことをお勧めします。

メモ

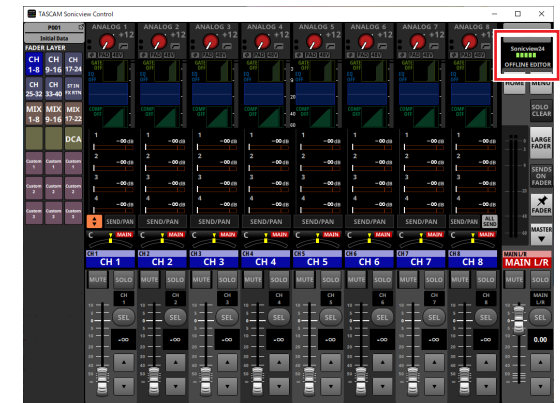
- 「TASCAM Sonicview Control」のバージョンは、ログイン画面の左上に表示されます。
- Sonicview本体の電源がオフのとき、またはネットワーク上にSonicview本体が検出されていないとき、以下のログイン画面が表示されます。



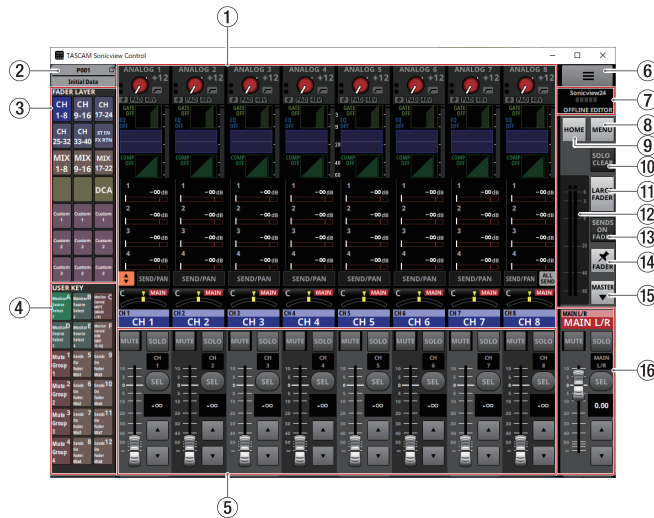
5. ログインしたいSonicviewをタップします。
選択したリスト表示にパスワードが入力できるようになります。
設定や確認を行いたいSonicviewを選択してログインしてください。

メモ

- Sonicview本体には、あらかじめネットワーク接続する際のパスワードがNetwork Setup画面で設定されています。パスワードの設定は、Sonicview本体のリファレンスマニュアル「第4章 ミキサーのコンフィギュレーション/各種設定」の「Network Setup画面」をご参照ください。
- IP Address表示にIPアドレスを入力してログインすることもできます。
- 6. Sonicview本体と各デバイスの接続が確立されると、Remoteモードでアプリケーションにログインします。
Remoteモード中は、アプリ画面の情報表示部（→ 12 ページ「⑦ 情報表示部」）に「REMOTE MODE」と表示されます。



画面の構成



① タッチスクリーン表示部

- Sonicview本体のタッチスクリーン1つに表示されるホーム画面および各種設定画面を表示します。ホーム画面および各種設定画面内の操作は、Sonicview本体のタッチスクリーンの操作と同じです。

- ホーム画面の以下のエリアをタップすると、ホーム画面に選択枠を表示します。

- INPUTエリア
- SENDエリア
- PANエリア



このとき、チャンネルセクション表示部（⑤）の表示がKeypad表示に切り換わります。
黄色い枠に対応するパラメーターを調節することができます。
(→ 14 ページ「パラメーターの調節方法」)

- ホーム画面の以下のエリアをタップすると、選択したMODULE画面に切り換わります。

- GATE / EXPANDER / DE-ESSERエリア
- HPF / EQエリア
- COMP / DUCKERエリア
- NAMEエリア
- SEND/PANボタン
- 選択された状態のINPUTエリア
- 選択された状態のSENDエリア
- 選択された状態のPANエリア



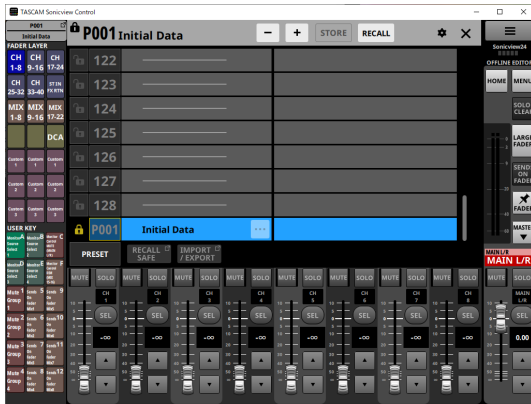
このとき、チャンネルセクション表示部（⑤）の表示がKeypad表示に切り換わります。
値を変更するパラメーターをタップし、黄色い枠を表示します。
黄色い枠に対応するパラメーターを調節することができます。
(→ 14 ページ「パラメーターの調節方法」)

メモ

Keypad表示の下部に、選択中のFADER LAYERのモジュール名が表示されます。タッチスクリーン表示部に表示中のモジュールのボタンがハイライト表示になります。

② Snapshot ボタン

- 選択中の Snapshot 番号と Snapshot 名を表示します。
- このボタンをタップすると、タッチスクリーン表示部が Snapshot リスト画面に切り換わります。



Snapshot リスト画面の操作は、Sonicview 本体のリファレンスマニュアル「第 8 章 設定データの保存／呼び出し」の「Snapshot リスト画面」をご参照ください。

メモ

動作モードが「REMOTE MODE」のときに、Sonicview 本体側で Snapshot を RECALL すると Sonicview Control のカレント Snapshot（最後に STORE／RECALL した Snapshot）と一致せずに、Snapshot 番号と Snapshot 名表示が点滅する場合があります。

③ FADER LAYER ボタン

- このボタンをタップすると、FADER LAYER が 8 チャンネル単位で切り換わります。最後にタップしたボタンがハイライト表示になり、現在選択中であることがわかります。FADER LAYER を切り換えると、各モジュールのフェーダー、MUTE／SEL ボタン、タッチスクリーン表示部の表示が現在のレイヤーの状態に応じて変化します。
- 各ボタンに割り当てる FADER LAYER とボタンのハイライト色は、メニュー画面＞Front Panel Setup メニュー＞「Layer / Master Fader Setup」で自由に設定できます。FADER LAYER ボタンの設定については、Sonicview 本体のリファレンスマニュアル「第 4 章 ミキサーのコンフィギュレーション／各種設定」の「Layer Key SETUP タブ画面」をご参照ください。Custom 1-7 ボタンは、Custom Layer Name 画面で設定したカスタムレイヤー名を表示します。（→ 19 ページ「アプリメニュー画面」）

④ USER KEY ボタン

ユーザーが自由に機能や色をアサインできるボタンです。ステータスをもつ機能を設定した場合には、ステータスに合わせてボタンがハイライト表示になります。USER LABEL (User key) で設定した内容を、USER KEY ボタンに表示することができます。USER KEY ボタンの設定については、Sonicview 本体のリファレンスマニュアル「第 4 章 ミキサーのコンフィギュレーション／各種設定」の「USER DEFINED CONTROLS 画面」をご参照ください。

メモ

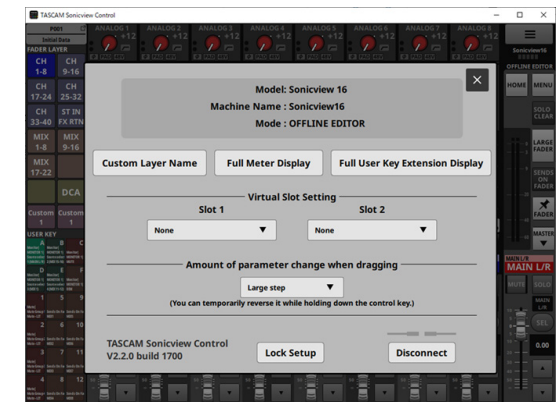
Sonicview 本体の 2 つのキーを同時に押す必要がある Snapshot の target キーは、Sonicview Control では連続で押すと実行されます。

⑤ チャンネルセクション表示部

Sonicview 本体のチャンネルセクションの MUTE／SOLO／SEL／チャンネルフェーダーを表示します。（→ 15 ページ「チャンネルセクション表示」）

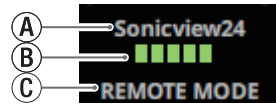
⑥ ボタン

このボタンをタップすると、アプリメニュー画面を表示します。（→ 19 ページ「アプリメニュー画面」）



⑦ 情報表示部

以下の情報を表示します。



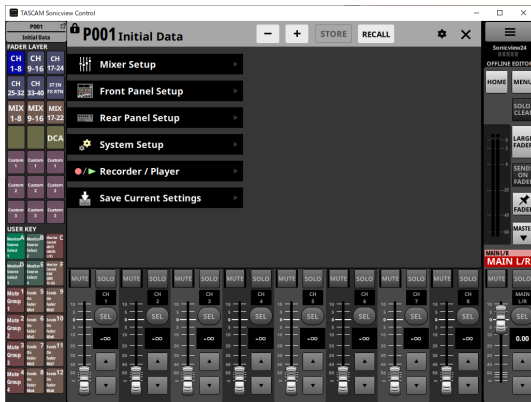
- ① ネットワーク上の機器名 (Machine Name) を表示します。
- ② 動作モードが「REMOTE MODE」のとき、ログインしている Sonicview本体と Sonicview Control間の通信速度を表示します。
- ③ 動作中のモード名を表示します。(REMOTE MODE / OFFLINE EDITOR)

メモ

②の点灯が2個以下では、アプリケーションの操作に支障をきたす場合があります。詳しくは、ネットワーク管理者様へお問い合わせください。

⑧ MENU ボタン

このボタンをタップすると、タッチスクリーン表示部がメニュー画面に切り換わります。



メニュー画面の操作については、Sonicview本体のリファレンスマニュアル「第2章 各部の名称と働き」の「メニュー画面」をご参照ください。

メモ

アプリケーションの動作モードによって使用可能なメニュー項目が異なります。
選択できないメニュー項目は、グレーアウト表示になります。

⑨ HOME ボタン

メニュー画面および各種設定画面を表示中にタップすると、タッチスクリーン表示部がホーム画面に戻ります。

⑩ SOLO CLEAR ボタン

- いずれかのモジュールのSOLOがオンのとき、SOLO CLEARボタンが点灯します。
- SOLO CLEARボタンが点灯しているときにタップすると、全チャンネルのSOLOを解除します。

⑪ LARGE FADER ボタン

このボタンをタップすると、チャンネルセクション表示が伸びて画面全体がチャンネルフェーダー表示に変わります。



メモ

- チャンネルフェーダーレベル表示部をタップすると、以下の画面に切り換わります。



黄色い枠に対応するパラメーターを調節することができます。
(→ 14 ページ「パラメーターの調節方法」)

- ハイライト表示中のLARGE FADERボタンをタップすると、チャンネルセクション表示が通常表示に戻ります。

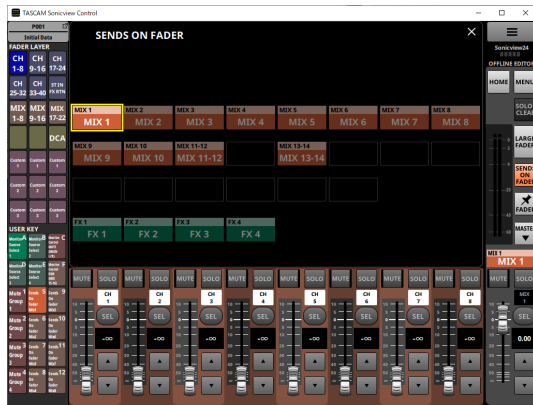
⑫ OUTPUT メーター

MAIN L/RバスのOUTPUTメーターを表示します。
OVERインジケータは、-0.00026dBFS（16bitフルスケール値）
以上で赤く点灯します。

⑬ SENDS ON FADER ボタン

このボタンをタップして、Sends On Faderモードのオン／オフを切り換えます。

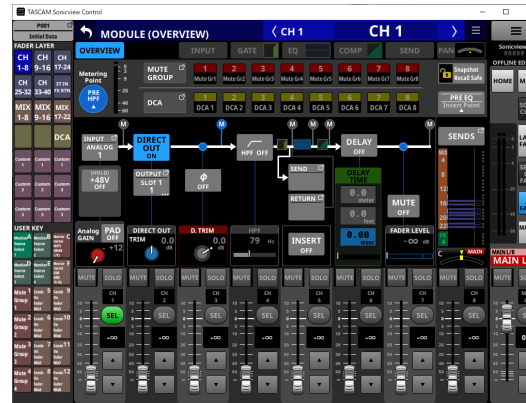
- SENDS ON FADERボタンがオン（Sends On Faderモード・オン）のとき、ボタンがハイライト表示になり、以下ようになります。
- タッチスクリーン表示部が、SENDS ON FADER画面に切り換わります。
- チャンネルフェーダーが、SENDS ON FADER画面で選択されたバスへのSEND LEVELの操作子に切り換わります。また、レベル表示部が選択したバスのモジュールカラーになります。
- マスターセクション表示が、SENDS ON FADER画面にて選択したバスマスターモジュールのモジュールに切り換わります。



- SENDS ON FADER画面を表示中にこのボタンをタップすると、Sends On Faderモードが解除されます。SENDS ON FADER画面が閉じて、マスターセクション表示がMAIN L/Rマスターモジュールの表示に戻ります。

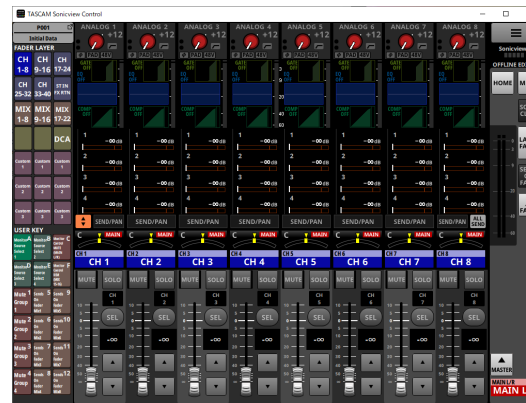
⑭ FADER ピンボタン

このボタンをタップして、チャンネルフェーダー表示のオン／オフを切り換えます。
このボタンがオンのとき、ボタンがハイライト表示になり、チャンネルセクション表示部が常にチャンネルフェーダー表示になります。



⑮ MASTER / FADER ボタン

このボタンをタップすると、マスターセクション表示を閉じることができます。



マスターセクション表示を閉じた状態で FADER ボタンをタップすると、マスターセクション表示を開きます。

⑯ マスターセクション表示

Sonicview本体のマスターセクションのMUTE / SEL /チャンネルフェーダーを表示します。（→ 17 ページ「マスターセクション表示」）

パラメーターの調節方法

ホーム画面表示中に選択枠を表示中の操作



以下の操作で値を変更することができます。

- 値を変更するパラメーターをタップし、黄色い枠を表示します。
- マウскарソルをタッチスクリーン表示部の黄色い枠内に置き、左右にドラッグして値を変更します。iPadOSデバイスの場合は、黄色い枠をタップしてから左右にドラッグして値を変更します。
- キーボードのCtrlキー（Windows）を押しながら左右にドラッグすると、高分解能で値を変更します（初期値）。macでは、キーボードのcommandキーを押しながら左右にドラッグします。ドラッグ操作の分解能については、アプリメニュー画面のHolding a Ctrl key during a drag operationボタン（⑥）で変更することができます。（→ 19 ページ「⑥Amount of parameter change when draggingボタン」）
- Keypad表示の数字ボタンをタップして値を入力し、Enterボタンをタップして値を変更します。PANエリアを選択中に+/-ボタンをタップすると「R」と「L」が反転します。GEQのデフォルト入力値はマイナスの値です。必要に応じて+/-のボタンで符号を変換してください。
- 値を変更する ▲ / ▼ ボタンをタップして値を変更します。

メモ

Keypad Offボタンをタップすると、チャンネルセクション表示部（⑤）の表示がフェーダー表示に戻ります。

各MODULE画面や各種MENU画面を表示中の操作



- 値を変更する ▲ / ▼ ボタンをタップして値を変更します。
- 値を変更するタッチスクリーン表示部のパラメーターをタップすると黄色い枠が表示され、Keypad表示に数字ボタンが表示されます。



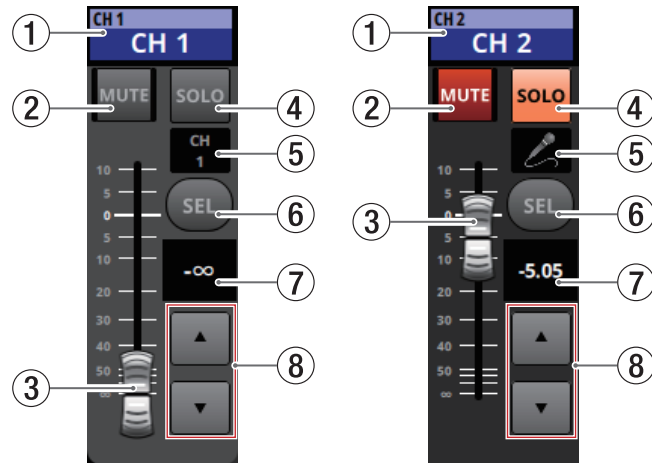
- 値を変更するタッチスクリーン表示部のパラメーターをタップし、黄色い枠を表示します。マウскарソルをタッチスクリーン表示部のパラメーター表示の黄色い枠内に置き、左右にドラッグして値を変更します。iPadOSデバイスの場合は、黄色い枠をタップしてから左右にドラッグして値を変更します。

- キーボードのCtrlキー（Windows）を押しながら左右にドラッグすると、高分解能で値を変更します（初期値）。macでは、キーボードのcommandキーを押しながら左右にドラッグします。ドラッグ操作の分解能については、アプリメニュー画面のHolding a Ctrl key during a drag operationボタン（⑥）で変更することができます。（→ 19 ページ「⑥Amount of parameter change when draggingボタン」）
- Keypad表示の数字ボタンをタップして値を入力し、Enterボタンをタップして値を変更します。PANエリアを選択中に+/-ボタンをタップすると「R」と「L」が反転します。GEQのデフォルト入力値はマイナスの値です。必要に応じて+/-のボタンで符号を変換してください。

メモ

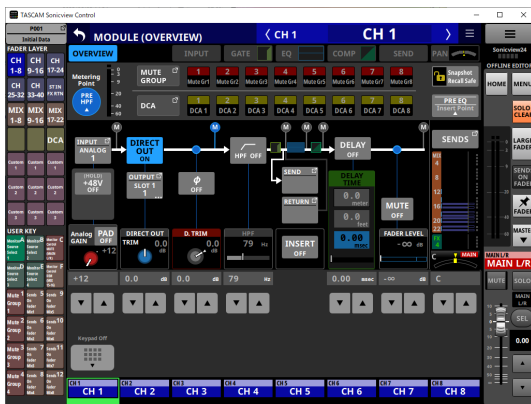
- Keypad Offボタンをタップすると、チャンネルセクション表示部（⑤）の表示がフェーダー表示に戻ります。
- ESCボタンをタップすると、チャンネルセクション表示部（⑤）がkeypad表示から値を変更する ▲ / ▼ ボタン表示に切り替わります。
- MODULE（Audio Follow Video）画面のON LEVELとOFF LEVELは上下ドラッグで値を変更します。

チャンネルセクション表示



① ホーム画面のNAMEエリア表示

- アサインされたモジュールのホーム画面のNAMEエリアと同じ内容（モジュール名／ユーザーモジュール名／DCAアサイン設定／Mute Groupアサイン設定）を表示します。
- このエリアをタップすると、タッチスクリーン表示部の表示が選択したモジュールのMODULE (OVERVIEW) 画面に切り換わります。



ハイライト表示中のSELボタン（⑤）をタップすると、ホーム画面に戻ります。

② MUTEボタン

- 動作モードが「OFFLINE EDITOR」のとき、選択したレイヤーにアサインされているモジュールのMUTEのオン／オフを切り換えます。
- 動作モードが「REMOTE MODE」のときは、このボタンを**押し続ける**ことでMUTEのオン／オフを切り換えます。

動作モード	オン	オフ
OFFLINE EDITOR	MUTE	MUTE
REMOTE MODE (HOLDの文字あり)	MUTE (HOLD)	MUTE (HOLD)

- このボタンがオン（ハイライト表示）のとき、対応モジュールの信号がMUTEされます。
- DCAまたはMute GroupによりMUTEされている場合は、ボタンが点滅します。
- SENDS ON FADERボタンがオン（Sends On Faderモード・オン）のとき、選択したレイヤーにアサインされている各モジュールから選択されたバスへのSEND ON/OFFを切り換えます（MUTEキー点灯時：SEND OFF、MUTEキー消灯時：SEND ON）。ただし、操作対象バスへのSEND ON/OFF機能がないモジュール（例：操作対象バスがFX1でモジュールがFXRTN1、操作対象バスがMIX1でモジュールがMIX1）の場合は、該当モジュールのMUTE ON/OFFを切り換えます。
- 動作モードが「REMOTE MODE」でSENDS ON FADERボタンがオン（Sends On Faderモード・オン）のとき、このボタンを**押し続ける**ことで、選択したレイヤーにアサインされている各モジュールから選択されたバスへのSEND ON/OFFを切り換えます。

③ チャンネルフェーダー

- SENDS ON FADERボタンがオフ（Sends On Faderモード・オフ）のとき、選択したレイヤーにアサインされている各モジュールのFADERレベルを調節します。
- SENDS ON FADERボタンがオン（Sends On Faderモード・オン）のとき、選択したレイヤーにアサインされている各モジュールから選択されたバスへのSENDレベルを調節します。
- チャンネルフェーダーのフェーダーノブを上下にドラッグして、FADERレベルを調節します。
- チャンネルフェーダーのゲイン値は、チャンネルフェーダーレベル表示部（⑥）に表示されます。

メモ

フェーダーノブをダブルタップすると、フェーダーが「0.00」に設定されます。

④ SOLOボタン

- 選択したレイヤーにアサインされているモジュールのSOLOのオン／オフを切り換えます。
- このボタンがオン（ハイライト表示）のとき、対応モジュールの信号がSOLO L/Rバスに送られます。
- DCAによりSOLOがオンになっている場合は、ボタンが点滅します。

⑤ モジュールアイコンまたはユーザーモジュール名表示部

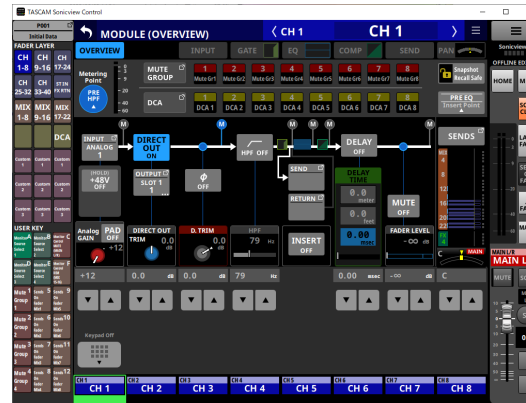
- ユーザーモジュール名を表示します。未定義の場合は、「CH 1」のようなモジュール名を表示します。モジュールアイコンが設定されている場合は、アイコンを表示します。
- この部分にモジュール名が表示されている場合にタップすると、タップしたモジュールのMODULE NAME画面に切り換わります。



この部分にアイコンが表示されている場合にタップすると、タップしたモジュールのアイコン設定画面に切り換わります。

⑥ SELボタン

このボタンをタップすると、タッチスクリーン表示部に選択したレイヤーにアサインされているモジュールのMODULE画面が表示されます。



⑦ チャンネルフェーダーレベル表示部

- SENDS ON FADERボタンがオン (Sends On Faderモード・オン) のとき、この表示部の背景色がアサインされている SENDS ON FADER操作対象バスの設定色になります。
- この表示部の左側にあるチャンネルフェーダーのレベルを数値で表示します。
設定範囲： $-\infty$ 、 $-120 \sim +10.0$ (初期値：0.0)
- この部分をタップすると、タッチスクリーン表示部が隠れて、以下の表示に切り換わります。



黄色い枠に対応するパラメーターを調節することができます。
(→ 14 ページ「パラメーターの調節方法」)

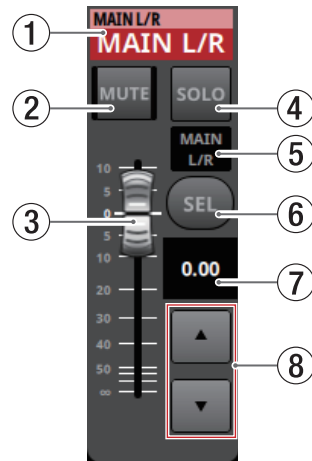
⑧ チャンネルフェーダー調節ボタン

- ▲／▼ ボタンをタップすると、チャンネルフェーダーを1ステップずつ調節することができます。

メモ

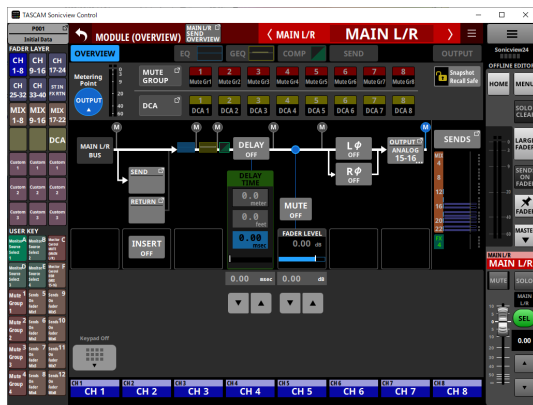
MODULE NAME画面の操作については、Sonicview本体のリリースマニュアル「第7章 その他モジュールパラメーター設定画面」の「ユーザーモジュール名の登録／編集方法」をご参照ください。

マスターセクション表示



① ホーム画面のNAMEエリア表示

- アサインされたモジュールのホーム画面のNAMEエリアと同じ内容（モジュール名／ユーザーモジュール名／DCAアサイン設定／Mute Groupアサイン設定）を表示します。
- このエリアをタップすると、タッチスクリーン表示部の表示がMAIN L/RマスターモジュールのMODULE (OVERVIEW) 画面に切り換わります。



ハイライト表示中のSELボタン（⑤）をタップすると、ホーム画面に戻ります。

② MUTE ボタン (MASTER)

- SENDS ON FADERボタンがオフ（Sends On Faderモード・オフ）のとき、Layer Key Setup画面のCustom Layer Setupタブ画面のMASTERスロットにアサインされたモジュール（初期値：MAIN L/R）のMUTEボタンになります。
- SENDS ON FADERボタンがオン（Sends On Faderモード・オン）のとき、選択されたバスマスターモジュールのMUTEボタンになります。
- 動作モードが「OFFLINE EDITOR」のとき、選択したレイヤーにアサインされているモジュールのMUTEのオン／オフを切り換えます。
- 動作モードが「REMOTE MODE」のときは、このボタンを押し続けることでMUTEのオン／オフを切り換えます。

動作モード	オン	オフ
OFFLINE EDITOR		
REMOTE MODE (HOLDの文字あり)		

- このボタンがオン（ハイライト表示）のとき、対応モジュールの信号がMUTEされます。
- DCAまたはMute GroupによりMUTEされている場合は、ボタンが点滅します。

③ MASTER フェーダー

- SENDS ON FADERボタンがオフ（Sends On Faderモード・オフ）のとき、Layer Key Setup画面のCustom Layer Setupタブ画面のMASTERスロットにアサインされたモジュール（初期値：MAIN L/R）のFADERレベルを調節します。
- SENDS ON FADERボタンがオン（Sends On Faderモード・オン）のとき、選択されたバスマスターモジュールのFADERレベルを調節します。
- MASTERフェーダーのフェーダーノブを上下にドラッグして、FADERレベルを調節します。
- MASTERフェーダーのゲイン値は、MASTERフェーダーレベル表示部（⑥）に表示されます。

メモ

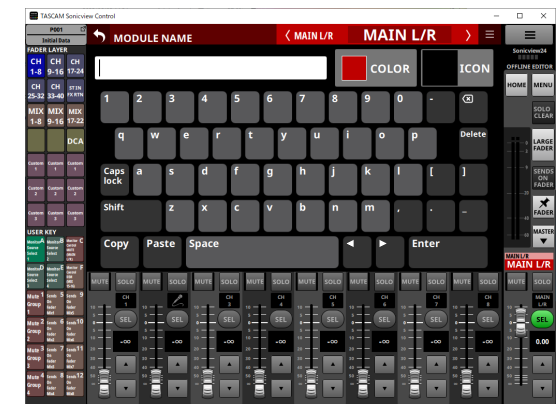
フェーダーノブをダブルタップすると、フェーダーが「0.00」に設定されます。

④ SOLO ボタン (MASTER)

- SOLOのオン／オフを切り換えます。
- SENDS ON FADERボタンがオフ（Sends On Faderモード・オフ）のとき、Layer Key Setup画面のCustom Layer Setupタブ画面のMASTERスロットにアサインされたモジュール（初期値：MAIN L/R）のSOLOボタンになります。
- SENDS ON FADERボタンがオン（Sends On Faderモード・オン）のとき、選択されたバスマスターモジュールのSOLOボタンになります。
- このボタンがオン（ハイライト表示）のとき、対応モジュールの信号がSOLO L/Rバスに送られます。
- DCAによりSOLOがオンになっている場合は、ボタンが点滅します。

⑤ モジュールアイコンまたはユーザーモジュール名表示部

- ユーザーモジュール名を表示します。未定義の場合は、「MAIN L/R」のようなモジュール名を表示します。モジュールアイコンが設定されている場合は、アイコンを表示します。
- この部分にモジュール名が表示されている場合にタップすると、タップしたモジュールのMODULE NAME画面に切り換わります。



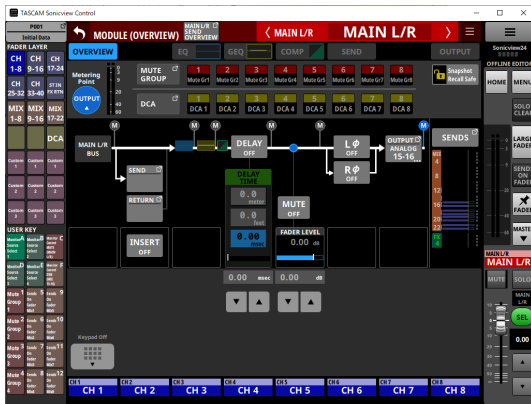
この部分にアイコンが表示されている場合にタップすると、タップしたモジュールのアイコン設定画面に切り換わります。

メモ

MODULE NAME画面の操作については、Sonicview本体のリファレンスマニュアル「第7章 その他モジュールパラメーター設定画面」の「ユーザーモジュール名の登録／編集方法」をご参照ください。

⑥ SEL ボタン (MASTER)

- SENDS ON FADER ボタンがオフ (Sends On Fader モード・オフ) のとき、Layer Key Setup画面の Custom Layer Setup タブ画面の MASTER スロットにアサインされたモジュール 初期値 (MAIN L/R) の SEL ボタンになります。
- SENDS ON FADER ボタンがオン (Sends On Fader モード・オン) のとき、選択されたバスマスターモジュールの SEL ボタンになります。
- このボタンをタップすると、タップしたモジュールの MODULE 画面がタッチスクリーン表示部に表示され、ボタンがハイライト表示になります。タッチスクリーン表示部上で MODULE 画面に表示するモジュールを切り換えた場合、対応する SEL ボタンがハイライト表示になります。



⑦ MASTER フェーダーレベル表示部

- SENDS ON FADER ボタンがオン (Sends On Fader モード・オン) のとき、この表示部の背景色がアサインされている SENDS ON FADER 操作対象バスの設定色になります。
- この表示部の左側にある MASTER フェーダーのレベルを数値で表示します。
設定範囲: $-\infty$ 、 $-120 \sim +10.0$ (初期値: 0.0)
- この部分をタップすると、チャンネルセクション表示部 (⑤) の表示が Keypad 表示に切り換わります。



黄色い枠に対応するパラメーターを調節することができます。
(→ 14 ページ「パラメーターの調節方法」)

⑧ MASTER フェーダー調節ボタン

- ▲ / ▼ ボタンをタップすると、MASTER フェーダーを 1 ステップずつ調節することができます。

アプリメニュー画面



① Model

操作／編集対象の機種名を表示します。

② Machine Name

Machine name画面で設定した名前を表示します。

メモ

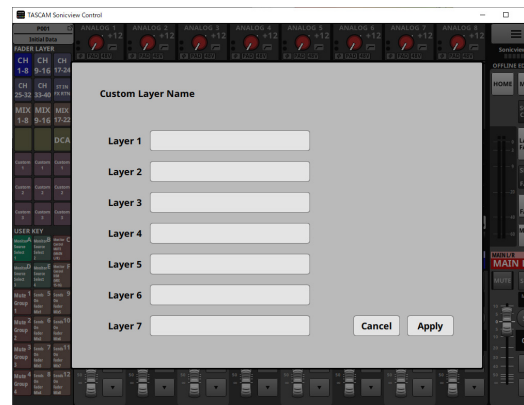
Sonicview本体には、あらかじめMachine NameがNetwork Setup画面で設定されています。Machine Nameの設定については、Sonicview本体のリファレンスマニュアル「第4章 ミキサーのコンフィギュレーション／各種設定」の「Network Setup画面」をご参照ください。

③ Mode

動作モード名を表示します。

④ Custom Layer Nameボタン

このボタンをタップすると、Custom Layer Name画面を表示します。



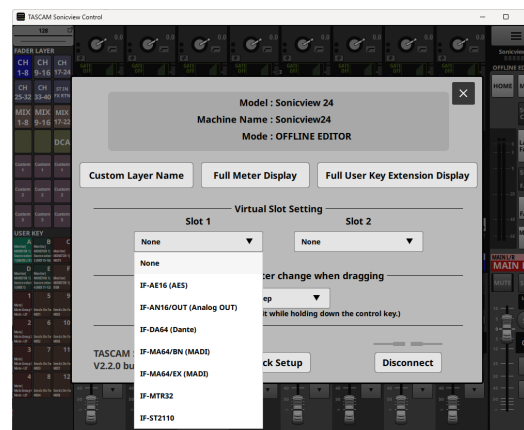
この画面でCustom 1-7 ボタンに表示するカスタムレイヤー名を設定することができます。(→ 11 ページ「③FADER LAYERボタン」)

メモ

Sonicview本体には、表示されません。

⑤ Virtual Slot Setting表示

動作モードが「OFFLINE EDITOR」のとき、Sonicview本体の拡張カードスロット（SLOT 1 / SLOT 2）に装着する予定のカードを設定します。

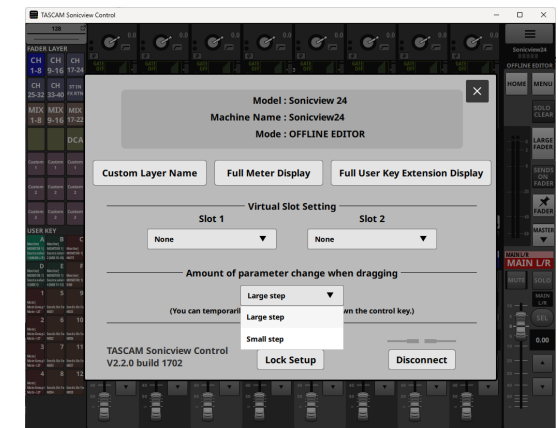


メモ

All System Dataには、保存されません。

⑥ Amount of parameter change when draggingボタン

- ドラッグしたときの分解能の設定状態を表示します。
- この部分をタップすると、分解能を選択するウィンドウを表示します。



選択肢	内容
Large step (初期値)	ドラッグしたときの変化量が多くなります。
Small step	ドラッグしたときの変化量が少なくなります。

メモ

動作モードが「Large step」のとき、WindowsではCtrlキー／Macではcommandキーを押しながらドラッグすると、一時的にSmall stepにて動作します。

動作モードが「Small step」のときは、一時的にLarge stepにて動作します。

⑦ TASCAM Sonicview Control表示

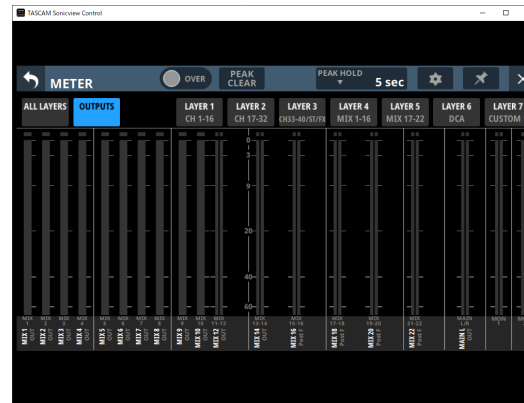
本ソフトウェア（TASCAM Sonicview Control）のバージョンを表示します。

⑧ × ボタン

このボタンをタップすると、アプリメニュー画面を閉じます。

⑨ Full Meter Display ボタン

このボタンをタップすると、画面全体にメーター画面を表示します。



左上の戻るボタン、右上の閉じるボタンをタップするとこのモードを終了します。

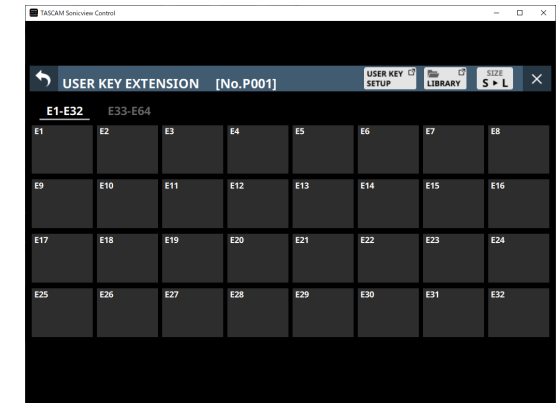
メモ

本体と同じ操作で、いつもの大きさで表示することもできます。



⑩ Full User Key Extension Display ボタン

画面全体に拡張ユーザーキー画面を表示することができます。



左上の戻るボタン、右上の閉じるボタンをタップするとこのモードを終了します。

メモ

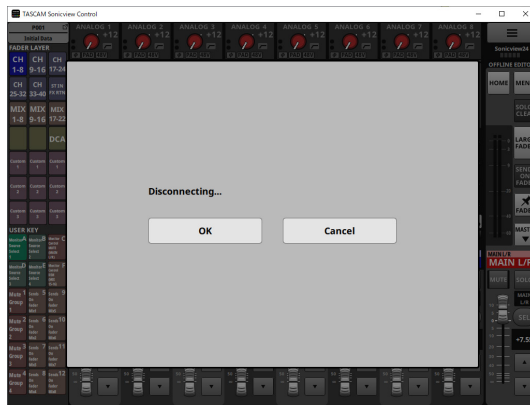
本体と同じ操作で、いつもの大きさで表示することもできます。



⑪ Disconnect ボタン

動作モードが「REMOTE MODE」のとき

このボタンをタップすると、以下の画面を表示します。



OK ボタン

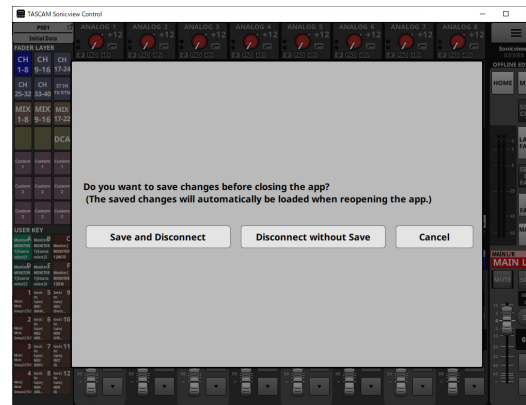
このボタンをタップすると、ウィンドウを閉じてログイン画面に戻ります。

Cancel ボタン

このボタンをタップすると、アプリメニュー画面に戻ります。

動作モードが「OFFLINE EDITOR」のとき

このボタンをタップすると、以下の画面を表示します。



Save and Disconnect ボタン

このボタンをタップすると、現在の編集状態をバックアップして、ログイン画面に戻ります。

編集状態は、パソコン内のアプリケーション管理領域にバックアップされます。次回以降はバックアップした編集状態で再開されます。

Disconnect without Save ボタン

このボタンをタップすると、編集状態をバックアップせずにログイン画面に戻ります。

Cancel ボタン

このボタンをタップすると、バックアップせずにアプリメニュー画面に戻ります。

注意

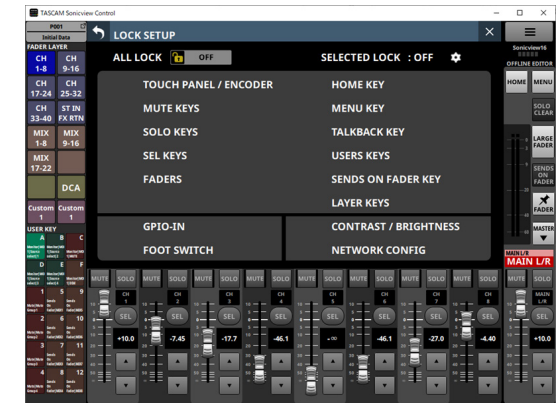
- バックアップせずに終了した場合、編集した設定データは失われます。
- バックアップした場合、前回バックアップした編集状態は失われます。

メモ

編集状態は機種に応じて別々にバックアップされます。

⑫ Lock Setup ボタン

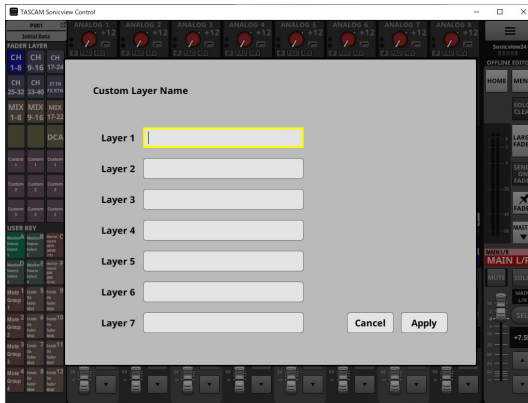
Lock Setup画面を表示します。



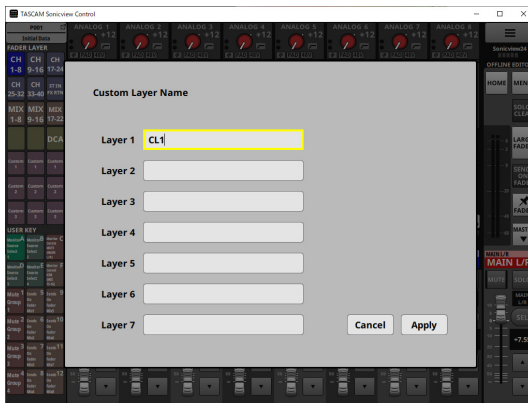
タッチスクリーン部以外の部分も設定でLockした内容に応じて操作できなくなります。

Custom Layer Nameの設定

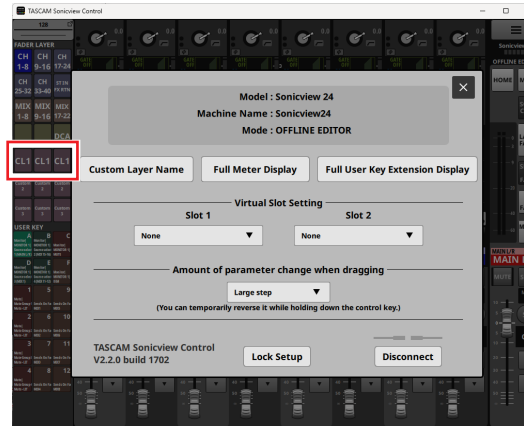
1. Custom Layer Name画面を表示します。
2. カスタムレイヤー名を入力する表示エリアをタップします。
選択すると黄色い枠が表示されます。



3. キーボードを使って、カスタムレイヤー名を入力します。
文字数は、最大 16 文字です。



4. 必要に応じて手順 2 から 3 を繰り返します。
5. Apply ボタンをタップすると、入力したカスタムレイヤー名を確定し、アプリメニュー画面に戻ります。
Cancel ボタンをタップすると、名前の設定を破棄し、アプリメニュー画面に戻ります。



FADER LAYER ボタンの Custom 1-7 ボタン名に反映されます。

Snapshot機能の操作

Snapshot機能の操作およびSnapshotの設定データの管理／編集については、Snapshotリスト画面で行います。

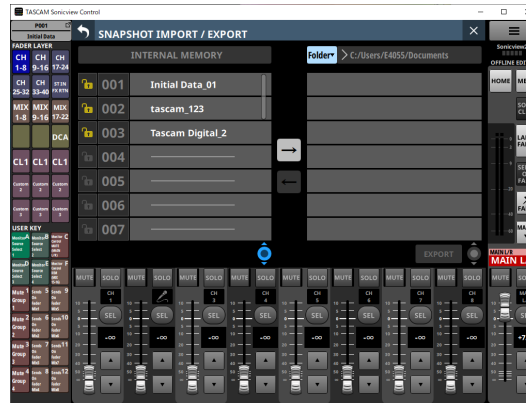
Snapshotリスト画面の操作については、Sonicview本体のリファレンスマニュアル「第8章 設定データの保存／呼び出し」の「Snapshotリスト画面」をご参照ください。

注意

- Sonicview Controlの動作モードが「REMOTE MODE」のとき、以下の操作はできません。
 - Snapshotのインポート／エクスポート
- Ver 1.1.0 で作ったSnapshotをVer 1.0.x でRECALLすると正常動作できないため、以下の制限があります。
 - Ver 1.1.0 で作ったSnapshotは、Ver 1.0.x ではインポートできません（Ver 1.0.x で作ったSnapshotは、Ver 1.1.0 でインポートできます）。
 - Ver 1.0.x 用のデータを作るには、Ver 1.0.x のオフラインエディターをご利用ください。

Snapshotのインポート／エクスポートについて

- 動作モードが「OFFLINE EDITOR」のとき、Sonicview Controlを起動しているWindows／Mac上の選択フォルダーがインポート元／エクスポート先になり、SNAPSHOT IMPORT / EXPORT画面のメディア選択ボタンの表示がFolderボタンに変わります。



Folderボタンをタップすると、Sonicview Controlを起動しているWindows／Mac上の選択フォルダーのウィンドウが表示されます。

- Snapshotのインポート／エクスポートの操作については、Sonicview本体のリファレンスマニュアル「第8章 設定データの保存／呼び出し」の「Snapshotをインポートする」および「Snapshotをエクスポートする」をご参照ください。

LIBRARYの操作

動作モードが「OFFLINE EDITOR」のとき、各LIBRARY画面でLIBRARYの設定データの管理／編集を行うことができます。

各LIBRARY画面の操作については、Sonicview本体のリファレンスマニュアル「第8章 設定データの保存／呼び出し」の「各種LIBRARY画面」をご参照ください。

注意

Sonicview Controlの動作モードが「REMOTE MODE」のとき、LIBRARY機能の操作が非対応となり、各MODULE画面のLIBRARYボタンは表示されません。

All System Dataの操作

動作モードが「OFFLINE EDITOR」のとき、ALL SYSTEM DATA画面では、Windows／Mac上の選択フォルダーへのSAVE／選択フォルダーからのLOADを行います。

注意

- Sonicview Controlの動作モードが「REMOTE MODE」のときは、操作できません。
- Ver 1.1.0 で作ったSnapshotをVer 1.0.x でRECALLすると正常動作できないため、以下の制限があります。
 - Ver 1.1.0 で作ったAll System Dataは、Ver 1.0.x ではリストアできません（Ver 1.0.x で作ったAll System Dataは、Ver 1.1.0 でリストアできます）。
 - Ver 1.0.x 用のデータを作るには、Ver 1.0.x のオフラインエディターをご利用ください。

All System DataのSAVE／LOADについて

- 動作モードが「OFFLINE EDITOR」のとき、ALL SYSTEM DATA画面のSAVEボタンをタップすると、Sonicview Controlを起動しているWindows／Mac上のファイルを選択するウィンドウが表示されます。SAVEするファイル名を指定し、All System DataをSAVEします。
- 動作モードが「OFFLINE EDITOR」のとき、ALL SYSTEM DATA画面のLOADボタンをタップすると、Sonicview Controlを起動しているWindows／Mac上のファイルを選択するウィンドウが表示されます。LOADするファイル名を指定し、All System DataをLOADします。
- 動作モードが「OFFLINE EDITOR」のとき、Factory RESETボタンをタップするとsnapshot、各種libraryファイルがすべて削除され、また編集していた内容が初期状態に戻ります。

ティアック株式会社

〒 206-8530 東京都多摩市落合 1-47

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポート

〒 206-8530 東京都多摩市落合 1-47

● 電話

042-356-9137

携帯電話・PHS・IP電話から

● ナビダイヤル



0570-000-809

一般電話から

● FAX

042-356-9185

受付時間は、10:00 ～ 12:00 ／ 13:00 ～ 17:00 です。（土・日・祝日・弊社指定休日を 除く）

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック 修理センター

〒 358-0026 埼玉県入間市小谷田 858

● 電話

04-2901-1033

携帯電話・PHS・IP電話から

● ナビダイヤル



0570-000-501

一般電話から

● FAX

04-2901-1036

受付時間は、9:30 ～ 12:00 ／ 13:00 ～ 17:00 です。（土・日・祝日・弊社指定休日を 除く）

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。